


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立小金井特別支援学校		知的障害	基	通学区域	武蔵野市(一部)、小金井市、小平市		
	朝日の学校と期待の笑顔 ー毎朝、児童・生徒が期待の笑顔で登校する学校を目指してー				進路実績	知的障害特別支援学校高等部普通科		
基本情報	所在地	〒185-0024 国分寺市泉町二丁目2番2号(仮設校舎)	電話番号	042-322-2215	本 情 報	教 育 課 程 の 特 徴	①	人権教育の推進
	アクセス	(1) JR中央線 西国分寺駅 徒歩約10分 (2) 京王バス いずみプラザ前 徒歩約3分 (3) 京王バス 西元町二丁目 徒歩約6分					②	授業づくり(自閉症教育の充実)
設置学部	小学部、中学部			③			オリンピック・パラリンピック教育の推進	
幼児・児童生徒数	124名(小学部73名、中学部51名)			④			都立多摩図書館の活用による読書活動や公共施設利用の充実	
学級数	29学級(小学部18学級、中学部11学級)			⑤			都多摩障害者スポーツセンターでの体育授業の展開	
報	スクールバス	6台(中型5台、小型1台)			副 籍 実 施 状 況	実施率19%(直接的な交流8%、間接的な交流12%)		
	その他				学 校 評 価	アンケート回収率:保護者92%、児童・生徒(聞き取りを含む)100%、教員100% 実施時期:7月		
目指す学校	人権を大切にす学校、児童・生徒のもつ可能性を伸ばす学校、障害の特性に応じた専門的な指導力を発揮する学校、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のため地域の特別支援教育の推進に貢献する学校、地域の関係機関と連携し本人・家庭を支援する学校、施設環境と設備を改善する学校、「チーム小金井」の責任ある組織人として教職員一人一人が教育及び校務に取り組む学校							

人権を大切にす学校、児童・生徒のもつ可能性を伸ばす学校、障害の特性に応じた専門的な指導力を発揮する学校、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のため地域の特別支援教育の推進に貢献する学校、地域の関係機関と連携し本人・家庭を支援する学校、施設環境と設備を改善する学校、「チーム小金井」の責任ある組織人として教職員一人一人が教育及び校務に取り組む学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	人権を尊重した教育の推進 1 児童・生徒への適切な呼名の仕方や言葉かけの徹底 2 体罰や不適切な指導の根絶 3 校内人権月間の設定及び人権研修による教職員の人権意識の向上	学校評価保護者アンケートの結果、人権に関する満足度は98%(前年度比3ポイント増)であった。 1 呼名の仕方については、昨年度は「姓+くん、さん」の徹底に課題が残ったが、今年度は全教職員で徹底できた。 2 体罰や不適切な指導、いじめ及びいじめの見逃しは0件だった。引き続き、根絶に向けた取組を徹底していく。 3 人権月間を各学期に設定するとともに、12月に人権担当指導主事による研修会、1月に大学准教授による障害者の人権に関する研修会を実施するなど、教職員の人権意識の向上に努めた。	
目標②	児童・生徒のけがや事故のない、安全・安心な学校の実現 1 事故防止及び事故対応のための訓練の実施 2 ヒヤリハットの迅速な報告 3 宿泊防災訓練の新規実施及び避難訓練の改善	児童・生徒の事故及び行方不明は、0件(昨年度比1件減)であった。 1 負傷や行方不明、摂食時の食物アレルギー、水泳指導時の事故の対応訓練を、4～5月に実施した。次年度は、新校舎に移転のため、児童・生徒の初登校前に施設の安全点検を実施するなど、安全管理を徹底する。 2 アクシデント報告の書式改訂や、ヒヤリハット報告の手順確認等、事故の未然防止に向けた情報の共有に努めた。 3 中学部2年生での一泊二日宿泊防災訓練や、条件を秘匿した避難訓練等、実際の場面を想定した実効性ある訓練を実施した。	
目標③	副籍制度による交流の充実 東京都特別支援教育推進計画(第二期)の政策目標「副籍制度の利用率(直接交流又は間接交流実施率)平成38年度目標値小80%以上、中50%以上」の達成に向けて 1 コーディネーター通信、利用者との座談会等を通じた啓発 2 市教委主催小・中学校校長連絡会等での協力依頼	副籍制度の利用率は、41%(前年度比22ポイント増)であった。 1 コーディネーター通信、特別支援教育通信、副籍座談会等を通して、啓発に努めた。 2 小金井市、小平市、武蔵野市の各教育委員会主催の小・中学校校長連絡会に校長又は副校長が出向き、地域指定校としての積極的な受け入れ及びセンター的機能の利用拡大を依頼した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	児童・生徒の呼び方や言葉かけに関する保護者アンケートでの満足度(%)	—	99	—	96	100	95	100	98	100	100	100
目標②	児童・生徒の骨折、頭部へのけが、行方不明等の年間事故発生件数(件)	—	1	—	3	0	1	0	0	0	0	0
目標③	副籍制度の利用率(小・中合わせた直接交流又は間接交流実施率)(%)	—	14	—	14	—	19	25	41	45	50	55

スクールイメージ

小金井特別支援学校に携わる全ての方々

「朝日の学校と期待の笑顔」へ、チーム小金井一丸となって・・・



1 子供が喜んで通える学校を・・・

体罰、暴言、いじめ、不適切な呼名方法

仮設校舎での学校生活

改善・充実

人権の尊重

指導内容・方法の充実

2 保護者が安心して子供を送り出せる学校を・・・

個の実態に応じた指導の不徹底

子供のけがや事故

改善・充実

学校生活支援シート・個別指導計画の活用

教員と保護者、教員間の連携・引継の徹底

3 地域や都民から信頼される学校を・・・

地域からの孤立、閉塞感

個人情報紛失、公務員の自覚欠如、前例踏襲

改善・充実

センター的機能の発揮、情報の積極的な発信

個人情報の適切な管理、サービス事故の防止、予算の適正な編成・管理・執行

4 職員が誇りをもって職務に当たれる学校を・・・

専門性の不足、曖昧な対応

多忙感、焦燥感、孤立感

改善・充実

特支免許、研究設定(3年計画)、OJT、正しい日本語

ライフワークバランス、メンタルヘルス、イクボス

作
っ
て
い
き
ま
す